

平成30年度第8回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「竜神山に秋の植物を訪ねて」を実施しました。

日 時：平成30年10月6日（土）午前9時30分から午後3時まで

場 所：石岡市竜神山

参加者：31名

結 果： バスの中で竜神について、また、採石法による竜神山の採石、自然環境保全法による竜神山自然環境保全地域について説明を行いました。常陸風土記の丘に到着の後に、現地集合の人と合流して、福田良市先生を講師に早速駐車場からシラカシの実の観察が始まりました。参加者も実を拾ってきれいな自然の美に感心をしていました。竜神山の山道に入り次から次へと植物が出現して、先生から一つ一つの植物を解説していただきました。

ヤブコウジの赤い実、カラスウリのオレンジ色の実、先端に黒い実を一つつけたチゴユリ、ブドウのような実をつけたヨウシュヤマゴボウ、青い実をつけたサワフタギ、ミツバアケビの実などを観察し、秋の装いを感じる観察会でした。

ここ数日は涼しい日が続いていましたが、気象予報通り気温が上がり、歩くにつれ、汗ばんできました。竜神山の山頂が近づくと削岩機の音が聞こえ、採石場のそばまで近づいたことがわかりました。山頂付近は木々に覆われ、南の方向しか視界が開けていませんが、参加者のみなさんは交代で展望台に上がり、霞ヶ浦を探すなどして眺望を堪能していました。

キノコもたくさん見られ、参加者の印象に残ったのはオレンジ色から赤い色をした美しいタマゴダケと地面から三本の角のようなものが出ているサンコタケです。タマゴダケの名前は土から出た時は卵のように真っ白で丸いことからついていきます。サンコタケの名前は密教の道具である三鈷からついていきます。

竜神山は採石場と隣り合わせの自然保全地域でしたが、意外と100種以上の植物が見られ、また、シダ植物は竜神山自然環境保全地域の説明によると40種のシダがあるそうですが、今回の観察会ではその半分の22種のシダが観察されました。さらに、キノコもたくさん見られ、自然豊かな場所であることを参加者のみなさんに認識していただいたようでした。

観察した主な植物：アセビ、カクレミノ、ガンクビソウ、コバノガマズミ、ゴンズイ、シラカシ、サルトリイバラ、トウゴクミツバツツジ、ヒノキ、ヌスビトハギ、ヤブムラサキ、ヤブコウジなど105種

観察したシダ植物：ベニシダ、ノキシノブ、ミツデウラボシ、フモトシダ、イノモトソウ、リョウメンシダ、ハリガネワラビなど22種

次に観察会の様子を紹介します。

(腰塚昭温)



山道での観察中の様子



シラヤマギク



実のついたチゴユリ



竜神山頂上



アケビの実



サンコタケ



タマゴダケ